

市民が主役！躍動するまち 多治見

たじみすと *Tajimist*

1

2026

No.2396

令和8年1/1 発行

広報たじみ

多治見市 LINE



特集

Sport for All

～人を笑顔に、まちを元気に～



第7回 フォトコンテスト

入賞作品紹介

Instagram

問 秘書広報課
☎ 22-1372

撮影者 @bobtajimiさん

撮影場所
国長橋

令和6年11月1日～令和7年1月5日までの期間で実施した第7回フォトコンテストの入賞作品を1作品ずつフォーカスして約1年にわたって紹介していきます。



雨上がりの朝、土岐川の堤防道路を散歩中にふと目に飛び込んできたのは、まるでウユニ塩湖を思わせる幻想的な風景でした。地面に広がる薄い水面に空の青と雲の白、市民病院と駅前のタワマンなどが映し出され、そこに愛犬と散歩中の人がフレームインすると、まるで映画のようなワンシーンとなりました。目線を少し下げる事で見えてくる素晴らしい風景が広がる多治見が大好きです。

撮影者からのひとこと

2026

1 CONTENTS もくじ

- 02 - フォトコンテスト入賞作品紹介
- 03 - 新年のご挨拶／2025年度10大ニュース
- 04 - [特集] Sport for All
～人を笑顔に、まちを元気に～
- 08 - 美術・文化情報／民生委員
- 09 - 生活情報／土岐川觀察館／地球村／広告募集
- 14 - パブリック・コメント／し尿処理 など
- 16 - 相談窓口／定期健診
- 18 - 健康情報／スポーツ情報
- 19 - 市・県民税の申告、所得税の確定申告受付 など
- 23 - き業展／たじみビジネスプランコンテスト など
- 24 - バロー文化ホール情報／夜間在宅当番医 など

- 26 - コラム(青と緑の物語／市民病院だより／地域力／子どもの権利を考えよう)
- 29 -マイタウンホットニュース
- 30 - 第3回たじみこどもフェスタ



今月の表紙

11月に開催した市民と市長の意見交換会に参加いただいた皆さんです。TYK スポーツパーク多治見(多治見運動公園)の多目的広場で撮影しました。今月号の特集で、意見交換会の様子を紹介しています。

謹賀新年

皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、18歳までの医療費無償化や第2子以降の保育料無償化の開始、TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）のリニューアルオープン、企業版ふるさと納税を活用した南坂上公園の大型遊具整備など、新たな政策にチャレンジした年でした。

本年は、これまでの取り組みを基にさらなるまちの発展を目指します。複数の大規模建設事業が完了する予定で、新しい「北消防署」、「笠原小中学校」および「笠原こども園」の供用が始まります。また、令和9年4月には、中京学院大学が当市に移転し開学する予定で、多治見市はもちろん東濃地域全体のさらなる発展が期待されます。

新たな年の幕開けを迎え、市民の皆さまとともに、「市民が主役！躍動するまち多治見」の実現を目指し、引き続き努力してまいる所存です。

結びに、皆さまの一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和8年1月 多治見市長



高木 貞行

二〇二五年 多治見市

10大ニュース

多治見市子育ち・子育て応援大使に小野あつこさん、子育ち応援キャラクターに絵本「くまのがっこう」のジャッキーが就任（1月）

養正交流センターオープン（4月）・南坂上公園遊具整備工事完了（2月）

市民病院で産後ケア受け入れを開始（4月）、市内初の医療機関併設型の病児保育を開始（9月）

子どもの医療費助成範囲を18歳まで拡大・第2子以降の保育料無償化（4月）

TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）リニューアルオープン（7月）

中京学院大学との間でキャンパスの多治見市移転元化に係る基本協定書を締結（7月）

多治見修道院建物調査実行委員会立ち上げ（9月）

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜）2025（開催10月）
※多治見市ではパドルテニス交流大会を開催

花火大会初めての秋開催（11月）

自動運転バス（レベル2）、ホワイトタウン外周路でテスト走行（11月～12月）



特集

Sport for All

～人を笑顔に、まちを元気に～

問 祕書広報課 ☎22-1372

市では、「市民が主役のまちづくり」を目指し、毎年テーマを決めて「市民と市長の意見交換会」を開催しています。令和7年度は、TYKスポーツパーク多治見（多治見運動公園）のリニューアルオープン、ねんりんピック岐阜2025の開催（多治見市ではパドルテニス交流大会を実施）など、スポーツに関する出来事が多くありました。このタイミングに合わせた今回のテーマは「スポーツ」。年齢、障がいの有無、性別に関わらず、スポーツを楽しみ、誰もが生き生きと健康に暮らせるまちを目指すため、日頃スポーツに親しんでいる市民の皆さんと市長が意見交換を行いました。



参加者8人それぞれに、 日頃親しんでいる スポーツの魅力や取り組み について 話していただきました。

パドルテニス



市のパドルテニス交流大会に参加したのをきっかけに16年くらい夫婦で一緒にパドルテニスを楽しんでいます。今年10月には、多治見市でねんりんピック岐阜2025のパドルテニス交流大会が開催され、多くの県外の選手の皆さんと交流できました。

スケートボード



これまで、近所の公園でスケートボードをしていましたが、狭くて危ないと感じており、スケートボーダーの設置について自分たちで署名活動をし、市にも要望を出し、管理办法を提案するなど活動してきました。

一昨年、星ヶ台にスケートボーダーのパークができ、家の近所にスケートボードができる環境ができるととても嬉しいです。色々な年齢の人と交流をしたり、上手な人に教えてもらったりしています。練習を積み重ねて技を習得するのが楽しいです。



私自身、スポーツの可能性を信じてやまない、スポーツが大好きな人間です。スポーツには、生涯スポーツなど健康増進、地域のコミュニケーションのきっかけづくり、ビジネスとして人を集めることによる経済効果など、さまざまな力があると思います。



野球

現在、スポーツ少年団の本部長を務めています。スポーツ少年団には「スポーツの楽しさを子どもに伝える」「スポーツを通じて、青少年の健全な育成に寄与する」「スポーツを通じて人々をつなぎ地域に貢献する」という3つの理念があります。



エクステラ

子どもの頃は体が弱かったのですが、水泳を始めて体が強くなりました。今は、水泳、マウンテンバイク、トレイルランニングの3種目を海や山など自然環境の中で行うエクステラという競技で、国内外の大会に参加しています。



サッカー

もともとプロのサッカー選手として活動していました。現在は、多治見市へ移住して、子どものキャリア教育や総合型地域スポーツクラブという形で陸上、サッカーのトップチームを運営する企業で働いています。プロスポーツ選手のセカンドキャリアの支援というコンセプトの「VOYAGERS(ボイジャーズ)」というサッカーチームで選手としても活動しています。



ボッチャ

日頃、太極拳やボッチャを楽しんでいます。市の健康推進づくり推進員も務めており、市のウォーキングイベントなどにもかかわっています。ボッチャは、審判の資格をとって、小学校のボッチャ教室などに赴いて審判なども務めています。

老人会の集まりで、偶然ボッチャを見かけて、仲間とやってみようと思いつきました。ボッチャは夏場の暑い時でも室内で楽しめ、大人から子どもまで誰でもできるという点で地域のつながりをつくるのによい種目だと思います。



意見交換会は令和7年にリニューアルオープンしたTYKスポーツパーク多治見内の星ヶ台管理棟の会議室で行いました。



18ページにスポーツ
に関する情報をお
載しています。

スポーツが持つ力を、市民の健康増進から、地域経渜の活性化、世代を超えた交流の促進など、市のさまざまな施策と連携することで「スポーツを通じたまちづくり」につなげられるのではないか、今回はそんな視点で皆さんから、さまざまな提案、ご意見、展望を話していただきました。

スポーツを通じて 地域の人と人をつなぐ

市民 私たちの地域のクラブでは参加者が減ってきてています。市外からの参加者も含めてなんとか維持している状況で、参加者を増やすため、体験イベントなどを開催して頑張っています。

市長 子どもたちだけでなく、一般の方のクラブ、サークルの存続も厳しい状況にあることがよくわかりました。クラブ活動を通して、多くの方に出てきてもらって一緒に活動するのは地域のつながりをつくる良いきっかけです。わたしたちもPRなど協力できるよう考えていきます。



市民 地域のスポーツサークルなどに積極的に参加してくれる人がいる一方でなかなか声をかけても出てくれない、参加してくれない人がいます。そういう方たちにもぜひ出てきていただいて、地域のみんなで触れ合えるといいと思います。

市長 生きがい、楽しみ、地域の方との触れ合いを作り出す観点から、市の社会福祉協議会の運営するサロンの健康麻雀開催を支援しています。高齢者の方が集まりやすいような取り組みを市も考えています。

市民 広報で、いろいろな大会の結果を掲載していただけると競技に取り組む人のモチベーションにつながるのではと思います。市民の皆さんにより多くの活動を知っていただくためにも、そういう機会を作っていただけだと嬉しいです。

市長 市のスポーツ協会が「TASA」という冊子を発行しており、大きな大会などで活躍した市内の選手を紹介しています。市としても、情報発信の方法を考えています。



市民 元気な女性が多くて、わたしのサークルにはどんどん人が集まっています。色々な活動に参加できる機会があり、今のところ、市の健康づくり、生涯スポーツの取り組みに満足しています。

市民 多治見市はスポーツ体験の場が少ないと思います。スポーツはやってみないと楽しげがわからないと思います。共働きの世帯が増えている、親の事情で子どもがスポーツできないこともあると思います。子どもたちにスポーツに触れ、楽しむ機会を提供していかたいです。

市長 市民の方がスポーツに触れ、親しむ機会を市としてもたくさん作っています。市の情報をよく知っている方には大いに活用していただいているよう嬉しいです。ただ、そういう取り組みを知らない方のために、市のさまざまな制度やイベント、取り組みについて、色々な世代に伝わる情報発信をしっかりしていかなければ感じました。